

<参考資料>

山口県のキャリア教育への取組の課題及び今後に向けて

キャリア教育推進会議、キャリア教育実践セミナーの意見等から

1 学校の課題及び今後に向けて

(1) 課題

- ① キャリア教育に対する全教員の共通認識がまだ不十分
- ② 体験活動が一過性のものや形骸化したものになっている学校もある
- ③各学校におけるキャリア教育の取組に温度差

(2) 今後に向けて

- ① 各学校の実態に合わせ、全教員が方向性や視点を共有し指導する体制づくり
- ② 体験活動等の事前事後指導の工夫による子どものキャリアに関する関心の持続
- ③ キャリア教育に熱意をもって取り組む教員育成のための研修等の充実

2 子どもの課題及び今後に向けて

(1) 課題

- ① 児童生徒のあいさつなどの基本的な生活習慣やコミュニケーション能力の向上が必要
- ② 仕事を連絡もなくすぐ辞めるなど規範意識に欠ける傾向がある
- ③ 子どもたちに辛抱する力や我慢する力をつけることが必要

(2) 今後に向けて

- ① 教育現場や家庭であいさつなどの基本的なことを身に付けさせる
- ② 仕事を続けることや就職後の人付き合いなどの基本を学校や家庭で教える
- ③ 生活をする中での子どもの生きる力を育むために大人の側の工夫や知恵が必要(学校や家庭の中で)

3 学校と家庭、地域、産業界との連携についての課題及び今後に向けて

(1) 課題

- ① 学校と家庭、地域、産業界等との積極的な連携の機会をもつことが必要
- ② 学校でキャリア教育を推進する際に家庭との連携の強化が必要
- ③ 地域社会で子どもを育てるという視点が必要
- ④ 学校、家庭、産業界が一体となって地域を支えていく必要

(2) 今後に向けて

- ① 保護者、地域、産業界、教員も入り、子ども達のことを中心に考え、議論する場をいくつも作っていくことが肝要
- ②-1 各家庭で、子どもと1対1で話すことや学校でのキャリア教育の授業参観に参加するなど親自身が取り組む環境づくり
- ②-2 親が仕事をする大人の一人として、子どもの夢や志のもち方や職業観を一緒に考え、育むことに積極的に取り組む
- ②-3 仕事をしている親が家庭の中でも日頃から仕事に対する意識を指導することや学校は保護者をもっと活用していくことが必要
- ③-1 学校、家庭、地域のそれぞれの立場で、地域内の子どもに関心をもち、時には厳しく育てることが大切
- ③-2 地域に貢献するためには自分は何ができるのかなど、社会の一員としての自覚をもたせる活動が必要
- ③-3 地域社会全体の中で若者たちを育てる時期にきている
- ④-1 保護者の方にもっと中小企業のよさを知ってもらい、子どもたちに地元の中小企業に就職してもらいたい
- ④-2 経済情勢が厳しく大企業に人が向かいがちの中、保護者を巻き込んだキャリア教育の取組を進め、生徒の県内定着を目指す
- ④-3 中小企業に地元から人材がいくためにも、企業側が生徒の体験活動などを工夫して受け入れる関係づくりに取り組む